

大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：関西レジャー記者クラブ)



2022年7月28日
大阪公立大学

園長直伝！

「熱帯植物観察会」を開催 ～エキゾチックな熱帯植物を100種展示～

大阪公立大学附属植物園は2022年8月27日(土)に「熱帯植物観察会」を開催します。普段なかなか見ることのできないエキゾチックな熱帯植物から、アボカドやマンゴー、パパイヤなど、果実は馴染みがあるけれど実際どのような木なのか見たことがない植物まで、間近で観察できる絶好の機会です。広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただきますようよろしくお願いいたします。イベント概要は次項のとおりです。

👉 [ご取材のポイント]

・約100種類の貴重な熱帯植物を展示

本園が保有する数多くの貴重な熱帯植物の中から、食にかかわる有用植物や素材・文化にかかわる有用植物、合わせて約100種類を展示

・暑い時期だけの限定公開

1年のうちほとんどの期間、非公開の研究温室で保存されている貴重な熱帯植物をこの時期だけ温室外に植え出し、一般公開

・園長が解説

<大阪公立大学附属植物園 園長紹介>

山田 敏弘(やまだ としひろ) 専門分野：進化古植物学

2011年9月-2018年3月 金沢大学 理工研究域自然システム学系 准教授

2018年4月-大阪市立大学大学院理学研究科(現大阪公立大学大学院理学研究科) 教授

大阪市立大学附属植物園(現大阪公立大学附属植物園) 園長



「原始的なサポテン」コノハサポテン

遠目には普通の木で、大きな葉を備え、枝幹も太くなりません。トゲはサポテン科植物そのもので、葉のつけねのところにはえる芽、腋芽には刺座があり、ここから刺を生やします。刺は針状で、意外に強力！



「人間との関わりが深い裸子植物」グネツム

スギやマツと同じ裸子植物だが、進化上は被子植物に近い。種子にはデンプンが多く含まれ、つぶして油で揚げ煎餅のようにして食べられます。また韌皮(外皮のすぐ内側の柔らかい部分)の繊維は、ロープ、網、釣り糸、製紙原料などに利用されます。

【イベント概要】

- 1 開催日時 2022年8月27日(土) 13時30分～15時00分
(雨天実施：雨量が多い場合は室内での講義)
- 2 会場 大阪公立大学附属植物園(大阪府交野市私市2000)
アクセス：京阪電車交野線「私市(きさいち)」駅下車、徒歩約6分
- 3 参加料 無料
ただし、入園料350円は必要
※中学生以下、障がい者手帳、知的障がい者療育手帳及び精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方は、手帳の提示により本人と付添の方1名は、入場料無料
※大阪府在住の満65歳以上の方で、住所・年齢の分かる公的証明書を提示された方は、入園料150円
- 4 参加方法 当日開園後に植物園事務所窓口にて参加整理券を配付し、先着20名様までとなります。
参加希望者は窓口にてお申し付けください。
参加整理券を持って、13時25分に植物園入口事務所前にお集まりください。
- 5 その他
 - ・新型コロナウイルス感染症対策として、参加にあたってお名前と連絡先電話番号を提出いただきます。
 - ・参加の際は、マスクの着用とソーシャルディスタンスの確保のご協力をお願いします。
 - ・写真撮影は自由です。
 - ・一部学生が説明することがございます。

【本件に関する問い合わせ先】

大阪公立大学附属植物園 担当：中野
TEL：072-891-2059 (9:00～17:00)
FAX：072-891-2101
Mail：gr-bg-info@omu.ac.jp

【取材に関する問い合わせ先】

大阪公立大学 広報課
担当 田中
TEL：06-6605-3411
Mail：koho-list@ml.omu.ac.jp